

2019年11月25日

「南信地区 学校図書館教育研究大会を終えて」

1 研究テーマ

本で出会う 新しい世界

2 公開授業・授業研究会

(1) 阿智第二小学校 6年 総合的な学習の時間

・「私たちの阿智村 もっと知って盛り上げプロジェクト」

プロジェクトの一環として、「阿智村盛り上げパンフレットをつくろ

う」と取り組み始めた子どもたちが、図書館を学習センターとして利用し、村の観光に携わりパンフレットを設置してくださる人の意見やアドバイスを聞き、友だちと相談することをとおして、自分らしいパンフレットになるように工夫することができる。



(2) 阿智中学校 3年 国語

・「読書生活を豊かに～保育園訪問で読み聞かせをしよう。家庭科（保育）との連携～」

保育園訪問での読み聞かせのために、相手に合わせて選書した生徒たちが、幼児にとっての本の影響を確認し、友だちと読みあって練習することをとおして、どのように読んだら喜んでくれるかなと本の特徴を生かして読もうと工夫することができる。

(3) 授業研究会

・両校とも小グループで観点を絞って話し合いを実施。子どもの学びの姿から適切な支援や代案を出し合うことができた。最後にグループで話題となった事を発表し全体共有できた。

3 講演

「生涯学習の種まきを！～学校図書館の活用で子どもの探究心を育てる～」

東京学芸大学等講師 元公立中学校司書教諭 村山 正子氏



4 参加人数 110名

5 まとめ

(1) 前年度から授業提供校をお願いし、当初に打ち合わせ連絡会を持ち見通しを持った。必要により進行状況の確認や事前授業等の参観を行った。主体的に授業や研究を進めていただいたり、授業内容は学校にお願いしたりしたのでそれほど負担感なくできたと思う。

(2) 諏訪、上伊那より大勢の参観者がありありがたかった。当日は天候に恵まれ、各学校から講演会場への移動もスムーズに行えた。

(3) 講演会では講師より確かな授業実践に裏打ちされた質の高い学びについての話があった。非常に具体的でわかりやすく、明日からの実践に使えることが多くあった。



司書教諭が担任と学校司書とのつなぎ役となって、連携を深めることが大事だとわかった。また、新学習指導要領完全実施を前に、探究的な学びへと導く支援について参考となった。